



安 陵 の 風



【発行】大島高校PTA 【編集】PTA 研修部 【印刷】南広報社

これから受験を迎える後輩へ～先輩からの応援メッセージ～



おおが たいきち さん
(平成28年度卒)

今回ご紹介するわが校の先輩の大賀さんは、昨年3月、大学一年生の時に友人と協力して、奄美市で受験生のための100円塾を開催しました。当時の新聞にも掲載され、本校の先輩がこんな素敵な活動をしていることに感動し、ぜひわが校の生徒と保護者に伝えたいと取材をお願いしたところ、忙しなか快く引き受けてくださいました。大賀さんは育った環境を悲観せず、出会った方々の言葉を希望にかえて、前向きかつ確実に夢実現に向けて行動しています。大学三年になる来年度は交換留学で海外へ行かれるため、残念ながら100円塾はできないそうですが、ぜひ、大賀さんの志を参考にわが子の夢実現への参考にさせていただきたいと思います。

プロフィール

- ・生年月日 平成10年8月20日
- ・卒業校 朝日小学校→朝日中学校→大島高校
- ・現在 茨城大学人文社会科学部法律経済学科経済メジャー
- ・今のはまり 交換留学生との国際交流
- ・推薦著書 LIFE SHIET～100年時代の人生戦略～

100円塾を行おうと思ったきっかけ

きっかけは沢山あるのですが、長くなってしまうので、一番の理由をあげますと、自分は幼いころから児童養護施設に入所しており中学時代に塾に通い勉強したくてもできなかった経験があり非常に残念だった事を覚えています。この経験から塾に通いたくても通うことができない子供は他にもいるはず、そんな子供のために勉強ができる環境を作りたいと思ってたことです。

茨城大学に進学を決めた理由

自分は大学受験の失敗を経験しているため茨城大学に進学したくて選択したわけではありませんが、進学を決めた理由としては茨城は関東圏であり東京に近いということです。社会科学の学問用語で「集積の利益」なるものがあります。首都東京には素敵な能力を持った魅力的な様々な人たちが集まってきます。そんな人たちと交流し彼らの経験を聞く中で自分の夢や目標を見つけることができます。たとえ見つけられなかったとしても彼らに鼓舞されながら生きていく生活は貴重な財産になります。お金などの目に見える有形の資産だけでなく、人々とのコネクションなどの目に見えない無形資産を築いていく事は大変重要になってきます。なんせ人生100年時代に私たち若者は直面しているのですから。これまでの教育→仕事→引退という3ステージのライフスタイルは通用しなくなります。こう述べるの自分は奄美には保守的な考えを持つ方々が沢山いるように感じます。島を出

るにしても九州県内にとどまったり、とりあえず教員、看護師という友達も沢山自分は見てきました。確かに費用面等で経済的にどうにもならないこともともあると思います。ですが、グローバル化が進む中どうしてもこれまで通り島だけのコミュニティだけだとおいていかれてします。もちろん自分も奄美が大好きですし、これからも何かしらの形で貢献出来たらと思います。一意見として、Multiculturalism(多文化理解)も含めて進路選択を考えてみてはいかがでしょうか。きっとあなたの人生をより充実したものにしてくれると思います。

大島高校の後輩にすすめたい勉強法

これは高校受験の時に述べたことと同じ内容になります。やるときはやる。しっかりメリハリのある人間でいてください。一つ相違点をあげるとすると、大学受験で競う相手は全国の高校生です。中には浪人生と競う必要性がある子もいる事でしょう。大島高校内だけでなく島の外を意識して勉強に取り掛かってください。本島の高校では体育祭や文化祭がなかったり、2年に1度だったりする事がよくあります。青春の思い出を全力で作ることも大切ですが、要領よく勉強もこなし、文武両道を象徴できる大高生であって下さい。自分は野球部に所属しており練習もハードで遠征も多く、体育祭もリレーのアンカーを務めて青春も謳歌しました。皆さんにもできるはずですよ。活躍期待しています。

あなたにとって大学受験とは

自分にとって大学受験は初めて挫折を味わった非常に貴重な経験となりました。常に学年1番2番にもいたにも関わらず全国の壁は高かったです。けどだからこそ面白い、そう思える向上心をもてる人になって欲しいです。つらい経験は必ずや力になります。妥協する事なく、挫折を恐れず、努力し続けてください。大学受験での知識は大学に入ってからも生きてきます。辛くはありましたが、自

分が一番成長できたそう感じられるつまりにつまった楽しい大学受験だったと思います。

モチベーションを高める方法

将来自分がなりたいと思う姿を想像してください。そして自分の目標を周りに宣言し続けてください。自分の目標を発信し続けることで、自分の意識が高まるだけでなく、同じ思いを持つ人や応援してくれる人が集まってきます。そうすることで自然とモチベーションは保つことができます。何より、1つの目標に向かって頑張っている人の姿はカッコいいですよ(笑)。

辛い時期やスランプをどう乗り越えたか

受験は自分との戦いで本当につらいものです。成績だけでなく人間関係にも影響が出てきます。そんな時だからこそ、自分を応援してくれる周りの人達に感謝の気持ちを持って誠実に頑張るのが一番です。結果を出して絶対恩返しをしてやる、そのくらいの強い気持ちを持って受験に打ち勝ってください。応援しています。

将来の志

将来やりたいことは沢山あるので、特に奄美に関して言うと、自分は奄美大島に生まれ、奄美という地域に育てられたと強く感じています。だから自分は奄美が大好きで。島にはメリットもありますがデメリットも沢山あります。勉強面に限らず、スポーツや芸術等の面においても教育サービスや活躍の機会にも本島と比べると思われてはいけません。これらを理由に多くの人々が島から出なくてはならない現状はとても寂しいものです。島人はみんな島が好きだと思います。島を出てから気付く人もいるでしょう。本当に気候もひともあたたかく暮らしやすい場所です。だからこそ「島でもできる」または「島だからこそできる」と思えるように奄美の発展に何かしら尽力したいです。

これからの受験はこう変わる！！

現1年生から、「大学入試センター試験」が「大学入試共通テスト」に変わり、英検、GTEC等の「英語4技能試験」にも対応しなければなりません。大学等に出席する際、高校で学んだことはもちろん、ボランティア活動や部活動、コンクール



1年進路担当
高橋先生



入選や資格取得等をポートフォリオにまとめたものが必要になるなど、入試のシステムも複雑化することが懸念されます。現1年生からの大幅な変更ですが、昨年度や今年度の推薦入試・AO入試だけでなく一般入試でも変化は始まっています。現2年生も、しっかりと変化を見据えた準備が必要だと考えます。

高大接続改革が目指していることは、
これからの社会で活躍する力、
自ら課題を発見し、他者と協働し、答えを作り出す力を持つ、
アクティブ・ラーナーの育成、そこから逆算した教育の実現



①AO・推薦の拡大
 難関大を中心に、AO・推薦入試が拡大してきている。
 国立大の推薦・AOは、「入学者全体の3割を推薦・AO入試などにより選抜する」という目標に向けて加速度的に拡大する可能性。

②入試区分を見直し、学力の3要素の適切な評価へ
 ・一般・AO・推薦の入試区分が見直され、学力の3要素の適切な評価へ。
 (一般入試→一般選抜、AO入試→総合型選抜、推薦入試→学校推薦型選抜)
 ・AO・推薦入試において、小論文、プレゼンテーション、教科・科目に係るテスト、共通テスト等のうち、いずれかの活用を必須か。

③入試の実施・発表時期についてルール化
 ・AO入試の出願時期の後ろ倒し(早期合格者の学習意欲低下対策)
 ・一般入試の試験期日の前倒し(記述式採点、多面的・総合評価の時間確保)

④調査書や提出書類等の見直し
 ・調査書の両面1枚の制限の撤廃し、「指導上参考となる諸事項」の記載欄拡充
 ・推薦書には学力の3要素についての記載を必須とすることを検討。

体育祭での保護者の駐車モラルについて～もし、自分が当事者だったら～

今回あった事例はご高齢の足の不自由な方のご自宅前の私道に駐車しており、唯一の移動手段であるオートバイが出せず、大変困っていらっしゃいました。その際、何度も放送アナウンスしたにも関わらず、解決したのが約1時間後でした。

もし、自分が当事者だったら…今回の事例で考えてみましょう。今回の心ない駐車でどれだけの人の時間をうばったのでしょうか。まずは一番の被害者の自宅前に車を止められた高齢の方はお店に行く予定でした。そして、その方が憤慨したため、その対応に役員が2名、地域の方が3名で対応し、それぞれの時間を奪ったこととなります。役員はわが子の競技を見ることができません

でした。地域の方は、仕事中の時間を割いて、対応にご協力いただきました。もし、そのまま、駐車時間が継続していたら、その方の健康状態にまで影響をしていたかもしれません。

ほかにも厳しいご意見を耳にしたことがあります。大島高校の保護者の生徒送迎の際の車のマナーです。保護者一人の“ちょっとぐらい”が、わが校の品性を損なうことにつながりかねません。今回の事例は、どなたにも起こりうることです。

もし、自分が当事者だったら…を考えて、子どもの見本となるような行動を心がけたいものです。保護者のみなさまのご理解とご協力をお願いいたします。

生徒送迎車両乗り入れについて【保護者へお願い】

(1) 登校時

- 7:10までに送迎を終え、7:20～7:25の登校が集中する時間帯を避ける。
- 次のような進入進路を厳守し、校内乗り入れを認める。
- 校内での制限速度は5km以下とする。
- 万一、事故が発生した場合の責任は運転者である。
- また、体育館、武道館裏の駐輪場を利用する生徒の入校は正門の1カ所とし、北門からの入校を禁止する。(北門から出てくる車両との接触を避けるため)

(2) 下校時

- できるだけ18:30以降校内に入る。
 - 校内での制限速度は5km以下とする。
 - 登校時同様、万一、事故が発生した場合の責任は運転者である。
- ※ 学校周辺の近隣住宅地前路上での送迎待機はお止めください。お住まいの方の迷惑になります。ご協力をお願いします。



【送迎車両の進入経路】